

平成28年度

入間市生涯学習をすすめる市民の会
活動報告書

いるまなびと



平成29年4月

入間市生涯学習をすすめる市民の会
<http://irumanabito.net/>

目 次

| | |
|-----------------------|----|
| はじめに | 2 |
| 1 活動目標と事業内容 | 2 |
| 2 各部会・プロジェクトの活動内容とまとめ | |
| ・ 企画・講座部会 | 4 |
| ・ 広報部会 | 8 |
| ・ 生涯学習フェスティバルプロジェクト | 11 |
| ・ アンケート／推進計画策定プロジェクト | 14 |
| むすび | 15 |
| 〈資料〉 | |
| ・ 年間スケジュール表 | 16 |
| ・ 収支決算書 | 18 |

入間市生涯学習をすすめる市民の会：

いるま生涯学習プラン21（入間市生涯学習推進計画）を基に活動を進めています。市民の学習支援を目指して、「市民と行政がそれぞれの強みを持ち寄って両輪として活動する」という協働の意図のもとに1995年に設立した市民のボランティア活動組織です。

生涯学習推進施策への提言・協力、学習情報の収集・提供、生涯学習に関するネットワークづくり、講座開設やイベント等の支援、生涯学習フェスティバル企画・運営など、活動は多岐にわたっています。

はじめに

平成7年度に設立された「入間市生涯学習をすすめる市民の会」は、市民の生涯にわたる学習活動支援を目指し、行政との協働により活動している市民組織です。平成22年度末に策定された「第3次入間市生涯学習推進計画」に基づき、「入間市のだれもが生涯にわたって、いつでも、どこでも学ぶことができ、学んだことを暮らしや地域に活かすことのできる」元気なまちづくりを目指し、平成28年度も11名の市民委員と事務局（教育委員会生涯学習担当）が一体となって、様々な活動を進めてきました。



特に、平成27年度の生涯学習フェスティバルでキャッチフレーズとなった「いるまなびと」をキーワードとして本年度は、「いるまなびと大作戦」と銘打った22年目の生涯学習フェスティバル、まちの先生を活用した5年目のまちの先生講座開講、学習情報の一覧「学びの場」の発行、学び情報をネットで提供する「いるまなびとサイト」の立上げ／運用、いるまなびと登録の促進など、市民の生涯学習を促進する活動を中心に進めてきました。

本報告は、平成28年度における活動をまとめたものです。以下に、各部会およびプロジェクトの活動目標と事業内容をまとめます。

1. 活動目標と事業内容

<企画・講座部会>

*活動目標

『生涯学習に関する共通的な仕組みづくり』

*事業内容

- ◎「まちの先生講座」の開講
- ◎庁内の関連部署及び公民館等との連携推進
- ◎生涯学習を推進する「学びのしくみづくり」の具体化
- ◎生涯学習先進地の視察

<広報部会>

*活動目標:

- 『生涯学習活動に関する支援』
- 『生涯学習に関する情報発信』
- 『市民の会の活動PR』

*事業内容

- ◎「いるま学びの場」発行
- ◎エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動
- ◎生涯学習けいじばんによる生涯学習情報の発信及び利用促進
- ◎ホームページ及びブログによる活動内容のPR
- ◎情報紙「生涯学習通信」の発行 年2回
- ◎生涯学習フェスティバルにおける「市民の会」PR（展示物）

<生涯学習フェスティバルプロジェクト>

*活動目標

『生涯学習フェスティバルの開催を通じ市民と行政の協働によるまちづくりを目指す』

*事業内容

- ◎「第22回いるま生涯学習フェスティバル」の方針立案、提案、実行
(入間市制施行50周年記念の中で第22回を迎える)

<アンケート／推進計画プロジェクト>

*活動目標

『平成27年度に実施した市民アンケートを分析し、それを踏まえて第4次入間市生涯学習推進計画策定に寄与すること』

*事業内容

- ◎入間市生涯学習市民意識アンケートの分析、まとめ
- ◎第4次入間市生涯学習推進計画の策定プロジェクトチームへの参画

2. 各分会・プロジェクトの活動内容とまとめ

企画・講座部会

部会長： 関谷

部会委員：岡野、幸森、土屋、春名、渡部

*活動目標

『生涯学習に関する共通的な仕組みづくり』

*事業内容

- ◎「まちの先生講座」の開講
- ◎庁内の関連部署及び公民館等との連携推進
- ◎生涯学習を推進する「学びのしくみづくり」の具体化
- ◎生涯学習先進地の視察

*活動実績 (★はプラン21への対応)

- ◎市民講座「まちの先生講座」の開講（5年目の試行）★まなぶ・つなぐ・いかす

重点項目：

- ✓ 時期の変更（イルミン耐震工事のため）
- ✓ 運営協力者の活用
- ✓ まちの先生をスタッフに活用
- ✓ 公民館活用の重点化
- ✓ いるまなびとのしくみの具現化（サイトの構築・いるまなびと登録推進）

【実施概要】

参加者：219名（延べ） ※昨年度：379名（延べ）

実施講座：17講座（講師17名）※募集は25講座。8講座が応募人数不足により未開講。

実施コマ数：3コマ（5講座、昨年9）、2コマ（7講座、昨年7）、1コマ（5講座、昨年7）

実施期間：2月1日～2月28日（10時～17時の3区分の時間帯）

会場：市民活動センター（イルミン）、入間市博物館（青丘庵）、公民館10か所、中央公民館、黒須公民館、東金子公民館、藤沢公民館、高倉公民館、東町公民館、久保稲荷公民館、東藤沢公民館、二本木公民館、藤の台公民館、武蔵豊岡教会（昨年度実施公民館：8か所）

スタッフ：延べ34名（昨年度48名）市民の会委員（19名）、市民の会協力委員（5名）、まちの先生（10名）、事務局



【実施講座】（ ）内はコマ数

- ・川柳は日本のうた！（3）
- ・日本の近代化、現代への足跡、証を訪ねて（1）
- ・茶道の世界シリーズ⑤（1）
- ・古文書初心者入門講座（2）
- ・はじめての風景画（3）
- ・気軽に作れるとび出す絵カード（2）
- ・動詞から豊かな表現へ（3）
- ・傾聴ボランティア養成講座（2）
- ・楽しく歌って介護予防（2）
- ・はじめてのハタヨガ（3）
- ・青竹&ボールで簡単ヨーガ（1）
- ・植物の防衛作戦（1）
- ・よく飛ぶヒコーキを作るぞ！（2）
- ・ホルンを知ろう♪（1）
- ・エレキギター入門講座（2）
- ・ホームページをつくろう（2）
- ・パソコンでインターネットを使いこなそう（3）



【参加者の声・まちの先生の声】 実施報告書に掲載

◎庁内の関連部署及び公民館等との連携推進 ★つなぐ・いかす

自治文化課開催の市民大学で「いるまなびと」登録の案内・宣伝・受付
公民館でのまちの先生講座開催数の増加
公民館職員と年度はじめに情報交換会実施

◎生涯学習を推進する「学びのしくみづくり」の具体化 ★つなぐ・いかす

- 1) 学びの体系化についての検討（仕組みのあるべき形を描き具現化へのステップ）
- 2) いるまなびとサイトの構築・運営・いるまなびと登録促進（3月末：69名）
目的：情報統合・発信・学ぶ市民のデータ化
対策：登録呼びかけチラシ作成、市民大学等でのチラシ配布、缶バッジ作成・配布
- 3) いるまなびとのWA！発行（夏号、冬号）、メルマガの発信（8月より月1回）
目的：アナログ・デジタル双方での情報発信

4) 生涯学習フェスティバルにおけるまちの先生PRの場の設置（5年目）

まちの先生の活用、活性化、周知を目的とし、まちの先生による体験コーナー（1名）及び展示（2名）を行いました。

◎視察研修 ★まなぶ・いかす・つなぐ

視察日時：平成29年3月5日（日）8時～（行程計画は別添-1 参照）

視察地：栃木県佐野市（全国学びとまちづくりフォーラム in 佐野 2017）

参加者：

（会員）渡部、山増、岡崎、増村、幸森、関谷

（協力委員）小暮

（新委員候補者）佐藤、春名（紀子）、長崎

（生涯学習課）須田、青木、坂本

目的：

佐野市で毎年開催されている「全国学びとまちづくりフォーラム」に、3年前初めて参加し、佐野市における生涯学習講師制度やステージの活用等について強い衝撃を受けました。その後、市民の会ではまちの先生制度を充実させ、市民の学びの輪を拡げてきました。今後は学んだ生徒が地域で活躍する仕組みを構築する必要があります。

フォーラムの今年のテーマは、「学びを通じて地域創生 あなたも今日から活躍人」でした。まさしくまちの先生講座の次なるステップのタイトルであり、生徒の地域デビューを後押しできるヒントを見つけることを目的として視察を行いました。

（詳細は視察報告書に掲載）

- ・分科会に出席（佐野市勤労者会館）

第7分科会「つながる力で地域を元気に！」

第8分科会「子どもは希望の種～寄り添い支え合う地域を目指して～」

- ・フォーラムへの出席（文化会館小ホール）

シンポジウム「学びを通じた地域づくりの推進」

基調講演「大会全体を振り返って～さあ始めよう あなたも今日から活躍人～」

- ・楽習講師フェア参観
- ・佐野市の文化財見学



*総括

平成27年度に続き「まちの先生講座」の試行的実施を行いました。平成28年度の重点事項は、時期の変更、まちの先生のスタッフ参加、受講生のフォロー。また公民館での開講数を平成27年度よりさらに増やして5割以上にしました。昨年度導入した協力委員制度も活用した上、まちの先生自身が講座スタッフとして参加する試みを行いました。

また講師の登録更新の際にまちの先生としての活動履歴を確認し（まちの先生講座の他、公民館の事業など）、公民館などで活用しやすいデータへの工夫を行いました。まちの先生講座の開講者募集、開講実施の広報、受講生の申込受付、開講（不開講）通知の発送等の一連の事務処理の流れは定着してきましたが、場所の確保に今年も困難がありました。これについては平成29年度も更なる工夫が必要であり、公民館との連携強化や新たな連携による場所の確保も視野に入れます。



重点項目のひとつである学びの情報発信のため、いるまなびとサイトを8月よりオープン、いるまなびと登録の制度を作り、その宣伝と登録をすすめるとともに、アナログ媒体として「いるまなびとのWA!」の発行、デジタル媒体としているまなびとメルマガの発信を8月より開始しました。

来年度以降も市民に分かりやすい看板として「いるまなびと」を掲げ、「生涯学習に関する共通的なしくみづくり」の構築を目指します。そのため情報の統合および、市民への双方向の受発信のあり方を研究・実験するとともに、学びを地域に活かす講座の研究・開設と、まちの先生リストの活用、まちの先生が事業に参画できる機会の提供、さらに事務機能の効率化を目指して活動していきます。

広報部会

部会長： 岡崎

部会委員：大野・春名・増村・山増



*活動目標：

- 『生涯学習活動に関する支援』
- 『生涯学習に関する情報発信』
- 『市民の会の活動PR』

*事業内容

- ◎「いるま学びの場」発行
- ◎エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動
- ◎生涯学習けいじばんによる生涯学習情報の発信及び利用促進
- ◎ホームページ及びブログによる活動内容のPR
- ◎情報紙「生涯学習通信」の発行 年2回
- ◎生涯学習フェスティバルにおける「市民の会」PR（展示物）

*活動実績

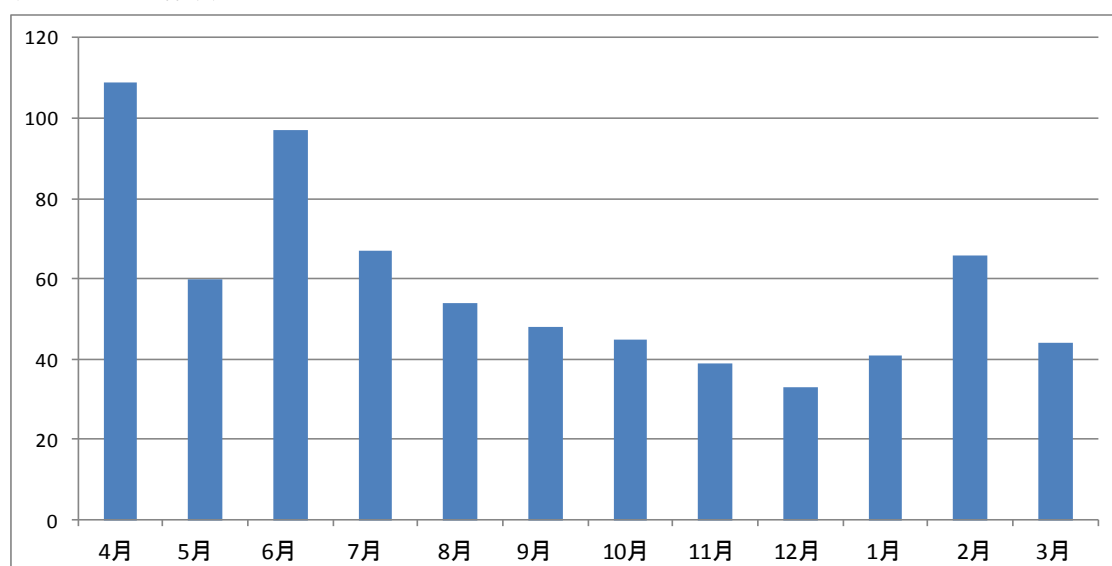
- ◎「いるま学びの場」発行
 - 1) 「いるま学びの場」は市内のサークル・教室を掲載し、市民の生涯学習を始めるお手伝いしている冊子。文化活動・社会活動・体育活動・スクール情報など内容別にして見やすくしました。スクール情報はチラシなどで新しい教室を調べ、追加掲載しました。市役所、公民館で配布しているが、「いるま学びの場」を手に入れている人がいて、役立てていただいている様子がたびたび見受けられました。
- ◎エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動
 - 1) エフエム茶笛との連携による広報活動は、今年度も生涯学習フェスティバルの開催前に11月5日（土）～12月3日（土）（計29回）15時、CMと時報放送を行いました。市民に周知していただくためには、毎年やり続けることが必要です。
- ◎生涯学習けいじばんによる生涯学習情報の発信及び利用促進
 - 1) 例年利用件数が落ち込む夏場・冬場にも、今年度はコンスタントな利用があり、各団体の生涯学習情報の発信の支援につながっている（年間利用件数703件。昨年度増40件強）。希望団体の重複の調整や利用の仕方に対する問題点がでてきているため、今後けいじばん利用に関する取り決めに詳細にしていく必要があります。

平成28年度 生涯学習けいじばん利用率

(件数)

| | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
|----------|-----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|-----|
| 富士見公園 | 11 | 6 | 9 | 6 | 6 | 6 | 5 | 4 | 4 | 5 | 7 | 4 | 73 |
| 向陽台広場 | 11 | 6 | 10 | 7 | 6 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 7 | 5 | 76 |
| 新しきを知る公園 | 11 | 6 | 10 | 8 | 6 | 5 | 5 | 5 | 4 | 5 | 7 | 5 | 77 |
| アミーゴ | 11 | 6 | 10 | 6 | 6 | 5 | 5 | 5 | 4 | 4 | 6 | 5 | 73 |
| さくら公園 | 11 | 6 | 10 | 6 | 6 | 5 | 5 | 4 | 3 | 4 | 6 | 4 | 70 |
| 金子駅前 | 11 | 6 | 9 | 6 | 6 | 6 | 5 | 4 | 3 | 4 | 6 | 5 | 71 |
| 博物館 | 11 | 6 | 9 | 6 | 6 | 6 | 5 | 4 | 3 | 4 | 6 | 4 | 70 |
| イルミン | 11 | 6 | 10 | 7 | 工 | 事 | 中 | 工 | 事 | 中 | 7 | 4 | 45 |
| 市民体育館 | 10 | 6 | 10 | 8 | 6 | 5 | 5 | 4 | 4 | 5 | 7 | 4 | 74 |
| 児童センター | 11 | 6 | 10 | 7 | 6 | 5 | 5 | 4 | 4 | 5 | 7 | 4 | 74 |
| 合 計 | 109 | 60 | 97 | 67 | 54 | 48 | 45 | 39 | 33 | 41 | 66 | 44 | 703 |

〔月で見る利用件数〕



今年度は7月、10月に掲示板メンテナンスツアーを行いました。掲示板は市内に10カ所ありますが（体育館、児童館、駅前プラザ、新しきを訪ねる公園、アミ

ーゴ、金子駅前、アリット、さくら公園、富士見公園、イルミン) 利用率は年々増えています。これは私たちの支援活動の成果と考えます。

◎ホームページ及びブログによる活動内容のPR

1) 今年度は市民の会ホームページを刷新し、充実したものとなりました。3月21日(火)「ホームページの更新方法」について、佐藤享氏を講師に勉強会を行いました。市民の会全体が「いるまなびとサイト」を更新できるようになることで、常に新たな情報を発信できるよう努めます。次年度には更に活用できるようにしたいと思います。



◎情報紙「生涯学習通信」

1) 情報紙「生涯学習通信」は11月と2月に発行しました。予定より遅れての発行となりましたが、生涯学習フェスティバル、まちの先生講座などの報告や、市民の会のPR、生涯学習サークルの紹介などの情報発信ができました。

◎生涯学習フェスティバルにおける「市民の会」PR(展示物)

1) 10月に行われる「万燈まつり」において、風車づくりでPR活動をしている。事前準備として、小暮さんの指導の下、風車材料の準備作業をした。「万燈まつり」では、親子連れや、孫に持ち帰りたいとおっしゃる方々に大好評の会場となりました。フェスティバルに若い親子連れの参加が多かったこともPR効果の現れだと感じました。



*総括

広報部会の会議は少なく、代わりにメールでやりとりしました。「生涯学習通信」を2回発行しましたが、今後はブログ、インターネットとの情報・PRなど検討する必要があります。

生涯学習フェスティバルプロジェクト

PJリーダー：岡野

PJ委員：大野・岡崎・幸森・関谷・土屋・春名・増村・山増・渡部
 (フェスティバル実行委員長：山増 同副実行委員長：岡野)



*活動目標

『生涯学習フェスティバルの開催を通じ市民と行政の協働によるまちづくりを目指す』

*事業内容

- ◎「第22回いるま生涯学習フェスティバル」の方針立案、提案、実行
 (入間市市制施行50周年記念の中で第22回を迎える)

*活動実績

- ◎「第22回いるま生涯学習フェスティバル」の方針立案、提案、実行
 方針：市政施行50周年を機会に改めて「協働」を意識する

テーマ：『いるまなびと大作戦』

日時：平成28年12月4日(日) 9時45分～15時45分

会場：入間市産業文化センター・児童センター・彩の森公園他

主催：入間市、入間市教育委員会

入間市生涯学習をすすめる市民の会、(公財)入間市振興公社

主管：第22回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会

実施内容：

[主な企画]



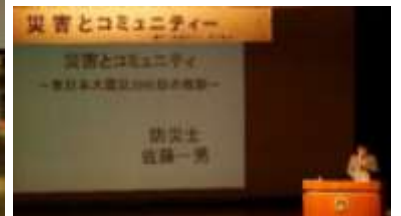
| 企画名 | 事業名 |
|--------|---|
| ミッション0 | ・参加団体展示・体験コーナー |
| ミッション1 | ・ボンネットバスで50年前にタイムスリップ |
| ミッション2 | ・協働ステップアップ！ 市民活動団体ワークショップ 「協働、今日どう？」 |
| ミッション3 | ・エンディングノートの書き方セミナー 「老いの身支度、準備OK？」 |
| ミッション4 | ・災害とコミュニティー ～東日本大震災2,095日の教訓～ |
| ミッション5 | ・みんなで踊ろう！ダンス、ダンス！ |
| ミッション6 | ・子どもヤンチャ化計画 かえっこバザール・大オニごっこ大会・フライングディスク など |

[まちづくりワークショップ]

- ・子ども食堂を作ろう！ 事例発表など
- ・高齢化でまちづくり大作戦「オレンジカフェ模擬店と徘徊声かけ訓練

[その他]

- ・生フェスGO！（体験ラリー） 会場に8か所体験ポイントを設ける
- ・市民の会、独自の企画として、昨年につき近隣の所沢市・狭山市の生涯学習推進団体の紹介掲示を行い、三市交流の場となった。



*総括

昨年、誕生した「いるまなびと」という言葉をテーマに取り入れ今年も浸透させるため使用しました。「いるまなびと」とは「いるま」「まなび」「ひと」「ナビ」を合わせた造語で、フェスティバルで学びを探している人へ学びを案内する作戦や学んでいる人同士が会う作戦を各会場で工夫してもらおうと「いるまなびと大作戦」にしました。フェスティバルのキャラクターの「いるくん」「まなちゃん」「びいとさん」も会場案内や景品の缶バッジで大活躍しました。



20年以上続いているフェスティバルですが、来場したことがない市民が83%近くいることが市民意識アンケートの結果でわかりました。主催者としては少々残念ですが、続けることで新たな出会いがあると考えます。今後も「学ぶ」をキーワードに試行錯誤していきます。

アンケート／推進計画策定プロジェクト

PJリーダー：渡部

PJ委員：岡野、大野、岡崎、関谷、土屋、春名、山増



*活動目標

『平成27年度に実施した市民アンケートを分析し、それを踏まえて第4次入間市生涯学習推進計画策定に寄与すること』

*事業内容

- ◎入間市生涯学習市民意識アンケートの分析、まとめ
- ◎第4次入間市生涯学習推進計画の策定プロジェクトチームへの参画

*活動実績

- 入間市生涯学習市民意識アンケートの分析、まとめ
 - 1) 市民意識アンケートの分析、まとめ
 - 平成27年度後半に実施したアンケートの分析を行い、報告書作成
 - 対象：有効回答数1,011名（対象：市民2,000名）
 - 項目：全22問
 - 概要：生涯学習認知度（55%）、生涯学習を行っている（60%）、学習の活かし方（健康管理53%、趣味特技49%など）、生フェス（来場経験あり12%、来場したことなし83%）
 - 発行：平成28年6月
- 第4次入間市生涯学習推進計画策定プロジェクトチームへの参画
 - 1) 第4次入間市生涯学習推進計画策定プロジェクトチーム
 - 構成：行政委員（入間市生涯学習推進会議）および本PJ委員（生涯学習をすすめる市民の会）
 - 日程：6月29日、7月20日、8月19日、9月6日に会議を開催
 - 内容：市民意識アンケートから見た市民ニーズの検討、第3次と同様に「まなぶ」「つなぐ」「いかす」を骨子、キーワード「いるまなびと」を全面に出す戦略
 - 発行：平成29年4月

*総括

短い期間でしたが、アンケートの集計、分析を通じて生涯学習に向けた市民の意識が明確になり、それを基に、第4次の推進計画の策定に反映することができました。

むすび

以上、平成28年度における「入間市生涯学習をすすめる市民の会」の活動状況をまとめました。11名と少ない委員ではありますが、これまで22年間継続し、毎年賑わっている生涯学習フェスティバルや、5年目を迎えた「まちの先生講座」、学習情報の一覧「学びの場」の発行、生涯学習けいじばんの活用、など各種の活動を精力的に進めてきました。

また、今年は市民活動センターの耐震化工事に伴う休館につき、月1度の定例会を全て地区公民館で行いました。各地区の特色や様子を肌で感じとることができ、入間を再発見できた1年でした。

いるまなびとサイトと連携して、市民の「いるまなびと登録」を募集し、入間市民への生涯学習情報の提供をはがきやメールで行う新たな取り組みは、今後の入間の生涯学習促進に何らかの効果が持てるものと期待されます。

しかし市民アンケートによれば8割以上の市民が、まだ生涯学習フェスティバルに来場したことがないことも分かりました。

また、5年目を終えたまちの先生講座も参加者の9割以上が「良い」と好評なのですが、毎年参加する市民は120～130名程度とまだ少ない状況ですし、まちの先生の数ももっと増やしたいところです。



これらの改善点を今後の課題と捉えて、効果的な活動を推進するように次年度の活動を計画、実施する予定です。

最後に、関連する市民活動団体、組織、企業の皆さま、および協働をすすめる行政関係部門の皆さまのこれまでのご協力に感謝すると共に、引き続き今後のご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。



〈資料〉 年間スケジュール表

| | 通年事業 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
|---|--------------------------------------|-----------|--------------------------|----------------------|---|--------------------------|
| 市民の会 全体 ※幹事会はメーリングで 意見調整 | 定例会 | 定例会(4/19) | 定例会(5/17) ※事業計画確認 | 定例会(6/21) | 定例会(7/19) | お休み |
| | 開催場所 | 藤の台公民館 | 東町公民館 | 扇町屋公民館 | 久保稲荷公民館 | |
| | 予算 | | | | | |
| | 3市交流会 | | | | | |
| | 予算 | | | | | |
| | 全体事業 | | 事務用品 | | 市民の会封筒印刷 等 | ホームページ改築 |
| | 予算 | | 4,486 | | 10,994 | 60,108 |
| | 99,165 | 0 | 4,486 | 0 | 10,994 | 60,108 |
| 企画・講座部会 (視察担当含) 関谷・岡野・土屋・春 名・渡部・幸森・森 | まちの先生講座(5年 目) | 部会(4/27) | 部会(5/23) | 部会(6/29) | 部会(7/27) | まちの先生募集市報 記事(8/1) |
| | 予算 | | | 120 | | |
| | 学びの仕組みづくり | | いるまなびと通信▲1 郵送代 | 事務用品代等 | 団体交流会費 | いるまなびと登録完 了ハガキ発送 |
| | 予算 | | 5,576 | 9,761 | 200 | 6,292 |
| | 他の課との連携推進(公 民館・自治文化・商工・ 環境課など) | | 自治文化課打ち合わ せ (5/11) | 公民館との情報交換 会(6/29) | イルミン活動団体交 流会(7/3) 市民大学 チラシ配布(7/9) | |
| | 予算 | | | | | |
| | 258,542 | 0 | 5,576 | 9,881 | 200 | 6,292 |
| 広報部会 岡崎・山増・春名・大 野・増村 | ブログの充実 | | | 部会(6/3) | 掲示板メンテナンス | |
| | 予算 | | | | 31,767 | |
| | 仲間を増やす | | | 風車用消耗品 | | 学びの場製本 |
| | 予算 | | | 1,620 | | 110,592 |
| | 231,459 | 0 | 0 | 1,620 | 31,767 | 110,592 |
| アンケート/推進計画 策定 岡野・大野・土屋・春 名・渡部・岡崎・山増・ 関谷 | アンケート | | | | | |
| | 予算 | | | | | |
| | 計画策定 | | | PT(6/23・29) | PT(7/20) | PT(8/19) |
| | 19,807 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| フェスティバル 山増・岡野・岡崎 | 実行委員会参画 | | 実行委員会(5/24) | | 役員会(7/12) 実行委員会(7/21) | 役員会(8/17) 実行委員会(8/18) |
| | 予算 | | | | | |
| | フェスティバル運営 | | | | | |
| | 予算 | | | | | |
| | 122,082 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|------------------------------|---------------------------------------|----------------------------|------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------|----------------------|
| 定例会(9/27) | 定例会(10/18) | 定例会(11/15) | 定例会(12/20) | 定例会(1/17) | 定例会(2/21) | 定例会(3/21) |
| 高倉公民館 | 東金子公民館 | 金子公民館 | 中央公民館 | 東藤沢公民館 | 西武公民館 | 二本木公民館 |
| | | | フェスティバル (12/4) 消耗品 | | | |
| | | | | イルミンロッカー代 | 事務用品 | 事務用品 |
| | | | | 1,000 | 1,830 | 20,747 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 1,000 | 1,830 | 20,747 |
| 部会(9/2) まち先生連絡会 (9/29) | 部会(10/18) かがやく広告 | 部会(11/15) | 部会(12/20) 講座受講者募集 | 部会(1/12) 開講通知発送・スタッ フ会開催 | 部会(2/1~) まちの先生講座開講 事務用品 | |
| 876 | 15,000 | | | 7,936 | 216 | |
| | wi-fiルーター(10月) | いるまなびと通信▲1 郵送代 | まちの先生展示・体 験@フェスティバル、 市民の会展示等 | | | 事務用品等 |
| | | | | | | |
| | 19,772 | 8,752 | 5,185 | | | 66,826 |
| | | | | | | |
| | | | | | | 視察研修(3/5) |
| | | | | | | 112,030 |
| 876 | 34,772 | 8,752 | 5,185 | 7,936 | 216 | 178,856 |
| 部会(9/27) | 掲示板メンテナンス (10/12・21)・部会 (10/18) | | | | | 内部研修(3/21) 掲示板用品 |
| | | | | | | 18,414 |
| | | FM時報放送 | | | | 生涯学習通信 |
| | | 64,800 | | | | 4,266 |
| | | 64,800 | 0 | 0 | 0 | 22,680 |
| | | | | | | |
| PT(9/6) | | | | | | 推進計画冊子作成 (表紙用上質紙) |
| | | | | | | 19,807 |
| 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 19,807 |
| 役員会(9/12) 実行委員会(9/16) | 役員会(10/13) 実行委員会(10/25) | 役員会(11/10) 実行委員会(11/17) | 前日準備(12/3) フェスティバル(12/4) | 実行委員会(1/26) | | |
| | 広報PR (万燈:10/29.30) | のぼり旗設置(11/25) | | | | |
| | 118,584 | 3,498 | | | | |
| 0 | 118,584 | 3,498 | 0 | 0 | 0 | 0 |

〈資料〉 収支決算書

平成28年度 入間市生涯学習をすすめる市民の会
収 支 決 算 書

(収入)

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 説 明 |
|-------|---------|---------|------|
| 補 助 金 | 760,000 | 760,000 | 市補助金 |
| 繰 越 金 | 0 | 0 | |
| 諸 収 入 | 0 | 2 | 預金利子 |
| 合 計 | 760,000 | 760,002 | |

(支出)

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 説 明 |
|---------|---------|---------|---------------|
| 総務費 | 60,000 | 118,972 | |
| 事務費 | 50,000 | 99,165 | 消耗品、ロッカー借上げ代等 |
| 印刷製本費 | 10,000 | 19,807 | 事業報告書用色上質紙 |
| 事業費 | 700,000 | 612,083 | |
| 企画講座 | 170,000 | 258,542 | まちの先生講座・視察研修等 |
| 広報 | 350,000 | 231,459 | 通信・CM・けいじばん等 |
| フェスティバル | 180,000 | 122,082 | フェスティバル事業費 |
| 予備費 | 0 | 0 | |
| 合 計 | 760,000 | 731,055 | |

収 入 (円) 支 出 (円) 残 金 (円)
760,002 - 731,055 = 28,947

上記のとおり、報告いたします。

平成28年 4 月 25 日

入間市生涯学習をすすめる市民の会

会 長 渡部 直也

会 計 岡野 亘

会 計 大野 千秋

【監査報告】

平成28年度入間市生涯学習をすすめる市民の会収支決算について、さる 4 月 21 日に関係諸帳簿及び関係書類を審査した結果、いずれも適正であることを認め、報告いたします。

監 事 幸森 康夫

監 事 春名 恭一

平成29年3月31日現在

入間市生涯学習をすすめる市民の会

おかざき さちこ
岡崎 幸子

つちや おさむ
土屋 修

おかの わたる
岡野 亘

はるな きょういち
春名 恭一

こうもり やすお
幸森 康夫

やまます ともこ
山増 智子

せきや あつこ
関谷 敦子

わたなべ なおや
渡部 直也

おおの ちあき
大野 千秋

ますむら きたこ
増村 紀綏子

もり まさえ
森 政江

問い合わせ先

入間市生涯学習をすすめる市民の会事務局
(入間市教育委員会 社会教育課 生涯学習・社会教育担当)

〒 358-8511

入間市豊岡1-16-1

Tel 04-2964-1111 内線4124・4125